

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【公開番号】特開2002-259015(P2002-259015A)

【公開日】平成14年9月13日(2002.9.13)

【出願番号】特願2001-61446(P2001-61446)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 M 1/725 (2006.01)

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

H 0 4 Q 7/38 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/00 6 5 6 D

H 0 4 M 1/00 R

H 0 4 M 1/725

H 0 4 M 11/00 3 0 2

H 0 4 B 7/26 1 0 9 T

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月18日(2008.2.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通信網を介して少なくとも画像と文字列を含む情報を受信する受信手段と、
前記受信手段によって受信した情報に含まれる画像と文字列を表示する表示手段と、
 前記画像と前記文字列を前記表示手段に同時に表示する際、前記文字列を前記表示手段の任意の表示領域に、自動的にスクロールさせながら表示する制御手段とを具備することを特徴とする通信端末。

【請求項 2】

通信網を介して少なくとも画像と文字列を含む情報を受信する受信手段と、
前記受信手段によって受信した情報に含まれる画像と文字列を表示する表示手段と、
前記表示手段に前記画像を表示する一方、前記文字列から改行を除いた 1 行の文字列を、
前記表示手段の所定の表示領域に自動的にスクロールさせながら表示する制御手段とを
具備することを特徴とする通信端末。

【請求項 3】

前記文字列の表示領域は、表示手段の最下位部であることを特徴とする請求項 1 または
請求項 2 に記載の通信端末。

【請求項 4】

前記文字列のスクロールの速度を変更する速度変更手段を具備することを特徴とする請
求項 1 または請求項 2 に記載の通信端末。

【請求項 5】

前記文字列のスクロールを停止するスクロール停止手段を具備することを特徴とする請
求項 1 または請求項 2 に記載の通信端末。

【請求項 6】

前記文字列の表示領域の位置を変更する表示領域変更手段を具備することを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の通信端末。

【請求項 7】

前記制御手段は、文字列を含まず画像を含む情報を前記表示手段に表示するときには、前記表示手段の文字列を表示する所定の領域に、任意の文字列を表示することを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の通信端末。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、請求項 1 記載の発明は、通信網を介して少なくとも画像と文字列を含む情報を受信する受信手段と、前記受信手段によって受信した情報に含まれる画像と文字列を表示する表示手段と、前記画像と前記文字列を前記表示手段に同時に表示する際、前記文字列を前記表示手段の任意の表示領域に、自動的にスクロールさせながら表示する制御手段とを具備することを特徴としている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】